

気象庁発表 全国1か月予報(平成31年1月31日発表)



	2/2~8	2/9~15	2/16~3/1
北日本	低い	低い	ほぼ年並
東日本	高い	年並か高い	高い
西日本	高い	年並か高い	高い

(2/2~3/1まで)

## 宮城県北部土木事務所様 気象観測設備納入

**東** 日本大震災を契機とした豪雪地帯における一般国道347号線の通年通行化の取り組みの中で、NEI道路気象観測装置が納入されました。

一般国道347号は、山形県寒河江市を起点として、河北町、村山市、大石田町、尾花沢市、宮城県加美町を經由し、大崎市に至る路線延長90.1kmの主要幹線道路であり、県境の鍋越峠を含む延長17.7kmは、両県でも有数の豪雪地帯であり、積雪と雪崩の危険により年間150日間(12月1日~4月下旬まで)の冬期閉鎖を強いられてきました。そのため東日本大震災直後は、緊急物資輸送路として利用できなかった為、本路線の重要性が再認識され、冬期間でも災害時及び緊急時に利用可能な輸送路として、通年通行化を目指し、平成24年度から道路改良事業、災害防除事業、雪崩対策事業及び防雪対策事業等を内容とする通年通行化事業を進め、平成28年度に通年通行を開始しました。

この事業中、この区間の気象状況をリアルタイムで確認するため、気象観測装置(積雪深、時間降雪量、風向、風速、気温、湿度)とライブカメラを5基設置致しました。この設置により、宮城県北部土木事務所内において現地の気象状況を把握することが可能となり、道路管理に当たってより適切な判断を行えることになりました。

本件に関する問合せ: info@nei.co.jp (株)日本エレクトリック・インスルメント/営業1 G



R347門沢除雪センター気象観測局



山形県境R347鍋越気象観測局



気象運行管理実況画面

